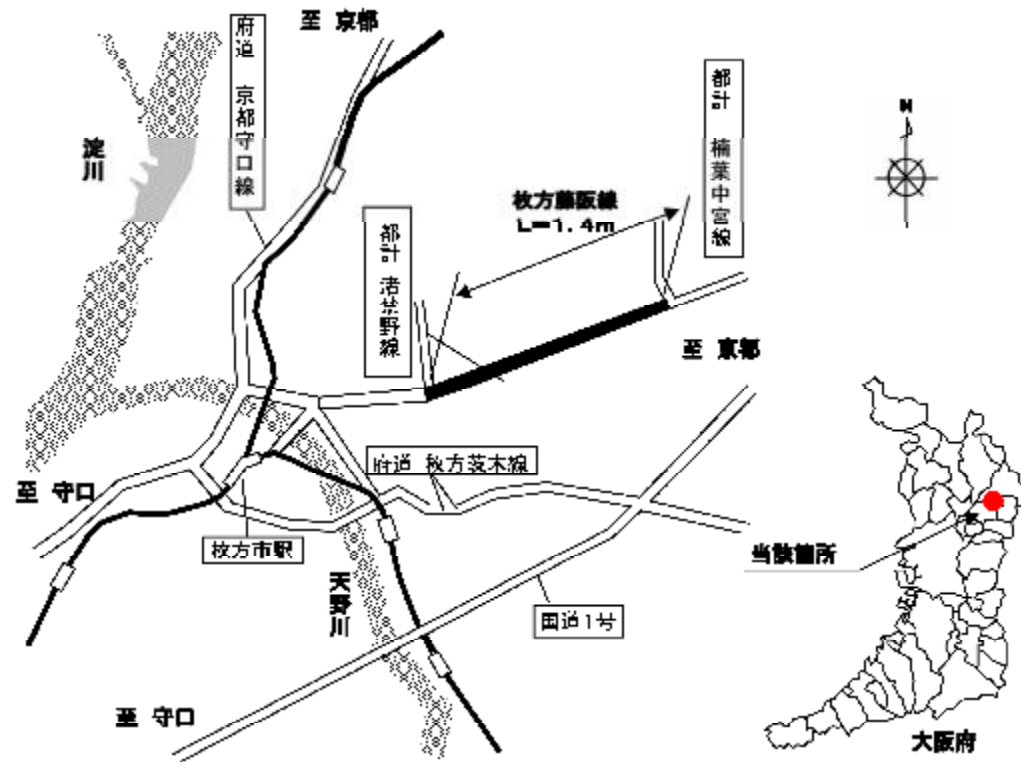


## 事後評価点検表

事業名	都市計画道路 枚方藤阪線整備事業
担当部署	都市整備部交通道路室道路整備課街路建設グループ（連絡先 06-6994-9280）
事業箇所	枚方市中宮本町、中宮北町、中宮東之町、甲斐田東町、甲斐東新町地内
内容	枚方市中央部を東西に結ぶ幹線道路であり、枚方中心部における交通渋滞緩和と交通安全対策を目的とし、現道拡幅を行うものである。
関連事業とその現状	関連事業の第二京阪道路については平成 21 年度に全線開通している。
社会経済情勢の変化	<p><b>【交通量の変化】</b></p> <p>府道杉田口禁野線</p> <p>最終評価時 19,639 台/日 (H11 センサス)</p> <p>完成時 14,378 台/日 (H22 センサス)</p> <p><b>【混雑度の変化】</b></p> <p>府道杉田口禁野線</p> <p>最終評価時 1.11 (H11 センサス)</p> <p>完成時 0.90 (H22 センサス)</p> <p><b>【事故件数の変化】</b></p> <p>H3 年～H7 年の 5 年間：40 件 H20 年～H24 年の 5 年間：30 件</p>
事業実施による自然環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の整備により旅行速度が向上し、CO2 の排出量が削減される。</li> <li>植樹帯の設置により、緑の回復に努める。</li> </ul>
最終評価時の意見具申と府の対応	<p><b>【最終評価時の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再々評価対象事業として審議した街路事業の【枚方藤阪線】については、審議の結果、事業のさらなる継続の必要性が認められ、かつ、事業進捗上も特段の支障がないと考えられるため、「事業継続は妥当」と判断する。</li> <li>用地買収率が 9 割を超えており、投資効果の面からも事業を早期に完成させることが必要である。</li> </ul> <p><b>【府の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>枚方藤阪線については、『事業継続』とする。</li> </ul>

	【最終評価時点 H15】	【完了時点 H19】	【分析】
事業費	約 52 億円	約 51 億円	事業費に特に大きな変化なし
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 18 年 ② 昭和 63 年度 ③ 昭和 63 年度 ④ 平成 17 年度	① 20 年 ② 昭和 63 年度 ③ 昭和 63 年度 ④ 平成 19 年度	地価下落等の理由から用地買収が難航したことにより、最終評価時点の予定から 2 年遅れて完成。
定量的効果 (費用便益分析等)	<p><b>【評価項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行時間短縮便益</li> <li>走行費用減少便益</li> <li>交通事故減少便益</li> </ul> <p><b>【分析結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B/C=1.85</li> <li>B=約 126 億円</li> <li>C=約 68 億円</li> </ul> <p><b>【算出方法】</b></p> <p>街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出</p> <p><b>【受益者】</b></p> <p>道路利用者</p>	<p><b>【評価項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行時間短縮便益</li> <li>走行費用減少便益</li> <li>交通事故減少便益</li> </ul> <p><b>【分析結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B/C=1.76</li> <li>B=約 118 億円</li> <li>C=約 67 億円</li> </ul> <p><b>【算出方法】</b></p> <p>街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出</p> <p><b>【受益者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> </ul>	概ね変化無し。
定性的効果	<p><b>【効果項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路空間確保によるライフライン導入区間の確保</li> <li>歩車分離による交通安全機能の向上</li> </ul> <p><b>【受益者】</b></p> <p>地域住民、道路利用者、就労者</p>	<p><b>【効果項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> </ul> <p><b>【受益者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> </ul>	所期の目的を達している。
その他特記事項	なし		
評価結果	<p>平成19年度に供用しており、現道の杉田口禁野線は整備後の混雑度が改善し、円滑な交通を確保に寄与している。</p> <p>また、当該路線における歩行者の交通事故発生件数は、供用前の5年間（H3年～H7年）の平均が約8件/年であったが、供用後の5年間（H20年～H24年）の平均が約6件/年に減少しており、交通安全性の向上に寄与している。</p>		
今後の同種事業に対する改善措置等	なし		

[事業箇所図]



[平面図]



[横断図]

